

環境経営登録事業所訪問記

内村建設株式会社



本社

＜主な業務内容＞
一般建築事業・不動産有効活用
・新築住宅・リフォーム
＜ISO14001 登録日＞
2010年7月



環境教育風景

今回お邪魔したのは、鹿児島市上本町にある内村建設株式会社です。

現在、民間建築事業を中心として、地域に根ざして堅実な経営を展開され、今年の4月で創立60周年になります。平成24年5月には本社を改築され、より環境配慮の建物となっています。環境担当者の営業管理部中馬様からお話を伺いました。

環境の取組み

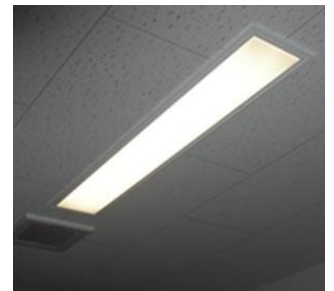
建築業は資材を自然界から得ているため、自然や環境に配慮した家づくりを積極的に提案しているそうです。その活動の中で、環境マネジメントシステムの必要性を感じ、初めに[鹿児島市環境管理事業所](#)、そしてやるならとことん取組もうということで、ISO14001を導入したそうです。

社長がISO14001の内容について一番理解しているとのことで、安心して、システムに取組んでいると話されていました。

社内では、高周波インバータ照明やLEDの導入、9.72kWのソーラー設置、空調は一括制御し、ディスプレイのグラフで使用量推移を見ることができます。

環境商品として太陽光発電、断熱外壁、節水トイレ、二重サッシ、エコキュート、レンガ蓄熱等の販売に取り組まれています。

また定期的な環境教育だけでなく、年1回は外部講師を招き環境講演会を開き、内部監査の担当者も3年毎に交代して、社員誰もがシステムを深く考える



LED使用



ソーラー発電

体制を整える等、環境教育に力を入れています。

ステップアップ

始めた頃には、電気・紙・水削減の基本活動に取り組みました。

2～3年すると、削減する活動では限界が出てきたとのことです。

地域環境と経営効果を考えた結果、事務所といった内部活動から現場での活動、そして環境商品の販売、さらに地域貢献の順に外部に目を向けていったとのことでした。

現在の活動レベルを客観的に認識して、ステップアップしていくことが大切だと感じました。



電気使用量の表示

地元あってこそ

平成 23 年の東日本大震災を機に、会社・財産・社員等の安全を守ることを考え、平成 24 年 5 月に耐震構造で環境配慮した本社に建て替えられました。

なお災害が起きた時には、地域住民の方々に避難場所として大会議室を解放するようになっていました。

またエコキャップ活動、古切手・プルタブアルミ缶収集、植林活動、イベント時の苗木配布、環境フェアへの参加等を行い、地元の上町活性化活動の一員として会議室の貸出やイベント受付・会場設営、社員が参加するといったことを積極的に取組まれています。

お客様・地域とのコミュニケーションの一つとして、3年に1回は[環境報告書](#)も発行されています。



空調温度の一括制御



社内掲示板

「地元あってこそその内村建設」という言葉が印象に残りました。「仕事ができるのは地域の方々のお陰である」との社長の思いが社員の皆さんに伝わっており、お話の節々で「会社に誇り」をもっておられることを実感しました。

貴重なお時間に取材へのご協力いただき、本当にありがとうございました。